

発行日／平成29年9月16日 編集・発行／千葉敬愛短期大学校友会 発行責任者／片山 喜久子 〒285-8567 佐倉市山王1-9 TEL.043-486-7111

校友会の皆様、お変わりありませんか。今年の夏の気象は文字通り「お天気屋さん」でした。災害に見舞われた各地の惨状には心痛むばかりです。自然の苦難に与える影響もはかりません。自然の一部である私達も、体調管理には随分と気を遣わねばなりません。私は96歳になる母と同居していますが、健康管理として例年以上に水分と栄養補給に努めました。お陰様で元気で夏を乗り越えられます。

母は、娘時代を太平洋戦争の真っ只中に過ごしていました。戦後、佐倉に駐屯していた父と出会い、結婚しました。父が戦地でなんと70年前に自動車で九十九里の海岸へドライブデートをしたこと。何かとハイカラな母でもうに機敏に動けないことを愚痴りながらも、食事は私と同じものを食べますし身の周りのことの話をしてくれたお蔭も自分でできます。この母が子供たちの世話をしてくれたお蔭

で、私は定年まで教員を続けることができました。感謝の思いは言葉では尽くせません。母の口癖で私が勇気をもらっているのは、「ありがとう」「美味しい!」お母さん煮物が上手だね。「お帰りなさい。早かつたね。」の二つです。何でもないことのよう、「お帰りなさい」と迎えてくれる母の存在はわたしの宝ものであり、今校友会の様々なことに取り組めるのも、この母が元気で家に待っているお蔭もあります。

今年、敬愛短大は「ホームカミングデイ」を初めて開催しました。「学生生活から卒業後も生き合える大学」への取り組みについて、一人一人の学生を支えたいという思いがあふれる行いです。校友会としてもこれは見逃せません。私たちは皆卒業生であり、校友会の会員でもあります。当日、私も参加し、挨拶をさせて頂きました。初めの言葉は「お帰りなさい!」です。一人抱える課題や悩みは違いますが、大学に戻って共に学んだ先輩や仲間と語り合う中で解決の

## 「おかえりなさい!」と迎える喜び

校友会  
会長  
片山  
喜久子  
(昭和48年卒業)



糸口を見つけられたら、こんな素晴らしいことはありません。

今回は卒業生と大野雄子先生が対談をする形で、小学校の先生をしている一人と幼稚園の先生をしている二人と幼稚園の先生をしている先生方の話を聞きました。三人とも男性です。女性が多い大学に在って、これは面白いことです。中でも、男性保育者の先駆的な存在の菅藤さんの話は印象的でした。マイノリティーであるが故の苦労話を聞くつづ、負けずに頑張ってほしいと思いました。そして今後敬愛短大を卒業して活躍する男性保育者が後に続くことを期待しています。

対談を聞いた後は、食堂に移動して茶話会です。私は在学中の女子学生さんと採用試験対策について話し合いました。生き生きとした表情で語る姿を見な

がら、この方の今後の進路を応援せずにいられないほどでした。順風満帆ならその様子を知りたいし、躊躇なことがあります。だから、自信と勇気をお土産にしてください。そしてそれをきっかけに校友会の活動にも 많이に参加していただければ、こんなうれしいことはありません。

今年も10月の敬愛フェスタでお会いしましょう。

## 「KEIAI☆フェスタ2017」

KEIAI☆フェスタ  
実行委員長 森川 美徳(2年)

10/21土 ▶ 10/22日  
KEIAI☆フェスタ開催!



初めまして。今年のKEIAI☆フェスタ実行委員長を努めさせていただきます森川美德です。私が千葉敬愛短期大学に入学するきっかけは、KEIAI☆フェスタでした。こんなにも、行事に一生懸命取り組んで協力している姿に憧れの気持ちを抱きました。

本学の名物とも言えるKEIAI☆フェスタの実行委員長ができるとても光栄です。行事の成功に向けて全力を注いで取り組んでいきたいと思っています。夏休みからスタッフ全員で本番に向けて動き出しています。今年は「命」というテーマを掲げて一生懸命頑張っています。また、今年は新しいことにも挑戦しており、「ミス敬短」を開催します!初めてのことで不安もたくさんありますが、楽しみにしていただけないと嬉しいです。またその他にも当日のあらゆる場所の装飾、出店、1つ1つ細かいところまでこだわりました。

サブテーマは「Share the all time」で、それらのこだわったものご来場いただいた皆さんにご覧いただき、いつもとは一味違ったKEIAI☆フェスタと一緒に楽しむことができたらいいなと考えています。まだ本番までは時間はありますが、スタッフ一丸となって今まで以上に頑張りたいと思います。ご都合がよろしければ是非お越しください。期待していてください。学生による手作りの学園祭を楽しんでいただき、たくさんの笑顔で溢れかえることができたら幸いです。皆様のご来場、心よりお待ちしております。



## 「学生会での経験とこれからの抱負」

学生会長 前島 芽実(2年)



こんにちは。平成29年度学生会会長の前島です。私は今年の4月から学生会長として色々な行事に取り組んで参りました。

私が初めて関わったのはリーダーズ研修会でした。司会進行を務めるのは初めてでとても緊張したことを今でも覚えています。次にあった行事は、予餞会でした。1年間お世話になった先輩方が卒業てしまい、現学生会執行部だけで初めて行事を行いました。今まで先輩方を頼りきっていたので改めて自分たちで行事を運営する難しさを学びました。4月を迎えた新入生歓迎会がありました。新1年生が入ってきて最初の行事なので、「敬短は楽しいところだよ!」と伝えられるように全力で企画を考えました。その次にあった行事は学生会の運営する一番大きい行事の学生総会でした。学生総会では、資料作りと弁当手配、運営をすべて学生会で行ったので、一番やりがいのある行事でしたが同時にとても大変でした。特に資料作りは今までにないくらいの枚数を印刷し、ホチキス留めをして、先生方も同じようなことを毎回しているのかと思うと

すごいなと思いました。夏になると全国私立短期大学体育大会壮行会がありました。リハーサルの予定を決めるのが遅く、内容を深めることができず他の学生たちに迷惑をかけてしまいましたが、その反省を踏まえて次の行事に生かしていくと思いました。

勉強とクラス長と学生会会長との両立はとても大変でしたが、今となってはやってよかったと思っています。クラスの仕事も忙しく会長としての仕事が疎かになることもありました。8人の学生会執行部のみんなが助けてくれたおかげで今までやっていくことができました。学生のうちにこのような貴重な体験ができる幸せ者だと思います。今まで行ってきたことは無駄ではなく、就職に生かして行きたいと思います。あと半年、学生会会長とクラス長の仕事を全うできるよう頑張っていきたいです!



生懸命表現した後の感激、達成感や充実を子供達と共に共有して涙を流す。このことが私が子供達から教師にさせ



昭和四十三年三月、敬愛短期大学を卒業。同年四月東京都江戸川区に於いて、小学校教諭として着任。お陰様にて平成十九年無事、陰でたく退職することができました。

十年が過ぎ、ここで改めてゆつくりぶり返つて見ると恥しくて冷や汗でタオルが濡れそうです。着任の頃の私は、指導書や研究資料で研究し授業する、交換日記を通して心を育てるのが教師としか思つていなかつたように思いました。恥ずかしい限りです。今思ふと、授業や運動会、学芸会等の行事を通して、立派に演劇したり合唱したりして一生懸命表現した後の感激、達成感や充実を子供達と共に共有して涙を流す。このこと

## 卒業して50年 ふりかえつて。



小山 定男  
(昭和42年卒業)  
校友会 副会長

「ありがとうございます。」の言葉をお届けしたいもので、私は教頭であり、職員を育てることが自分の仕事と受け止め、授業の研究、生活指導の在り方、行事への取り組みのアドバイス、健康管理等に視点をあてていたようです。

一番大切な教育目標を忘れて頂いていたのです。心からお礼の言葉をお届けしたいものです。そして管理職になり、そこで頂いていたのです。心からお礼の言葉をお届けしたいものです。

私がちになつていていたように反省しました。いじめによる自殺、傷害事件は心が痛みます。心の優しい子供を育てることが重要であったと反省している。心の優しい子供を育てるのは、心の優しい、教師を育てることであり、それが管理職の仕事であると反省。朝出勤し、「おはよう」の挨拶から職員の健康状況を察知する。挨拶は、健康的のバロメーターである。疲れていたような職員を見かけたら、少し甘味の多い紅茶を入れ「少し疲れてない」と声をかけ、学級、家庭での悩みなのか、なにげなく聞くこと。

このような取り組みが、心の優しい子供を育てる教師の育成につながり、管理職にさせて頂くことになる。とふりかかる。

今年七月聖路加病院の日野原重明医師が一〇五才で他界しました。先生は、「人は定年してから成熟していく」とのべていました。百才の時从此らスタートと言い、一〇五才迄現役。患者の手を取り、



私事ですが、7月に誕生日を迎えると、ふと頭に浮かんだことがあります。「学校に通つて50年振り返れば、人生の9割を学校といふ建物や組織の中で過ごしてきたのです。学校にお勤めでかただ」と書かれていました。ある新聞に「教師が『いじめ』を見抜けるには生活のほんどのを学校で過ごしているからだ。」と書かれていました。そうせざるを得ない労働環境に先生方が苦しまれていることを理解できる私には、厳しい記事だなと思えました。

幸いなことに私は、校友会に係わさせていただいて、多彩なキャリアと多様なお考えの方と知り合うことができました。校友会の会員には、教育保育のお仕事をされている

## ホームカミング



大塚 孔久  
(昭和56年度卒業)  
校友会 副会長

向かい、息をひきとる時「ありがとうございます」と言つて旅立つ迄見とどけてきたそうです。日野原先生の生き方、教育の中にも通じるものがあると思いました。

百才迄後三十年あります。

これからも関わる皆様から多くのものを学び成熟して行きたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



# 学長メッセージ

千葉敬愛短期大学  
学長 明石 要

## 一、第1回ホームカミングデイ開催

7月23日、午後から第1回ホームカミングデイを開催しました。

卒業生の皆さんと在学生の皆さんが交流する場を用意しました。具体的には、小学校にお勤めの一人の男性先生と幼稚園にお勤めの男性先生を囲んだトークショウでした。大野学生

部長のすばらしい突っ込みと先生方のユーモアを交えた語りは好評でした。

来年も開催します。今年は宣伝不足の嫌いがありまし

た。来年はもう少し準備を早めます。ホームカミングデイで実行してほしいプランがありましたら大学まで是非お知らせください。例えば「婚活」とか「育児相談室の開催」とか「教育技術のスキルアップ講座の開催」というものでけつこうです。

## 二、今年からAO入試の実施

今年からAO入試を導入しました。高校生たちの多様な入試への関心の高さに対応するためです。試験日は第Ⅰ期が9月2、3日です。第Ⅱ期は11月4日です。第Ⅲ期は11月23日です。すでにオープンキャンパスは6回行いました。



4月29日に第2回目のさつき祭を開きました。昨年から始めた催しです。4月の終わりから5月の上旬にかけて物井の駅から大学までの道に、さつきがきれいに咲きました。この風景を山王の住民の方たちと共有したく「さつき祭」を立ち上げたのです。

当日は校友会の役員の方々も参加していただきました。校友会からはお祭り用の「のぼり」を作成していただきしております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

## 三、第2回「さつき祭」開催

千葉敬愛短期大学

4月29日に第2回目のさつき祭を開きました。昨年から始めた催しです。4月の終わりから5月の上旬にかけて物井の駅から大学までの道に、さつきがきれいに咲きました。この風景を山王の住民の方たちと共有したく「さつき祭」を立ち上げたのです。

当日は校友会の役員の方々も参加していただきました。任期はあと三年でした。校友会からはお祭り用の「のぼり」を作成していただきております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

## 四、千葉敬愛短期大学 70周年記念に向けて

千葉敬愛短期大学は三年後に創立70周年を迎えます。

4月から学長に再任されました。任期はあと三年です。学長の任期は一期六年までと規定されています。残り二年半ですが、魅力ある短期大学にしていきたいと思っています。一番の課題は定員割れの阻止です。これに全力を注ぎます。

## 五、学長に再任される

4月から学長に再任されました。

「創立70周年記念行事実行委員会」(仮称)を立ち上げる予定です。校友会の皆様のお知恵とご協力をいただきたいと思っています。具体的な仕組みが決まりましたらお知らせします。



続いて昭和十二年には、支那盧溝橋事変、日中戦争の勃発、昭和十六年十二月八日には日米開戦「全世界戦争」、国民生活は更に厳しく衣食の不足国は一億総動員令の発動で節約を示威られ国民は戦争に勝利するまでは、部落単位で共同生活での行動でありました。日用品は代用品で賄い家々に昔からの金物類は総て軍需品として強制的に供出、寺



# 人生の宝

石橋 裕  
(昭和27年卒業)

私は、昭和十八年四月旧制中学校入学「現高等学校」戦争も真只中、学生生活は午前中は、どうやら教室での授業、教科書、教材も満足ではありません。黒板での講義でした。特に厳しい授業は修身科目。学長の訓話。午後は概ね軍事教練、昭和十九年頃から米軍機「B29」が飛来して來た。私は教練では、将来出征は特別攻撃兵に志願するよう推められ猛訓練に參加した。土曜日



# Message

—メッセージ—

お便りお待ちしております!!

本短大卒業生の近況や思い出を掲載する  
コーナーです。事務局では会員の皆様のお便り  
を、お待ちしております。どんなささいな事でも、  
かまいません事務局までお送りください。

◎原稿郵送先 〒258-8567 千葉県佐倉市山王1-9  
千葉敬愛短期大学 校友会事務局まで  
FAX:043-486-2200(24時間受付)

千葉敬愛短期大学 ホームページ  
<http://www.u-keiai.ac.jp/ijunior/>

の午後は、男手の少ない農家へ班別に奉仕活動へ行き生産活動に協力。私達は毎月一回戦場にいる軍馬の飼料に乾燥草を十貫目箱詰めして学校へ持っていく、一番辛い仕事でありました。戦いは勝つまでも一生懸命でした。

私は、昭和二十二年三月卒業、将来の希望として工業関係の職業と夢をもつて、受験準備をしていましたのですが、昔小学校で教えてくれた恩師が訪ねて来られ、戦後間もないので中学校の教員が足りない、少し臨時教員として手伝つてくれないかと誘われ勤めた。二ヶ年勤務しましたが将来教師になるには、教師免許の資格が必要となり、三月末に教育関係大学の志願、試験は終つていた。思案にくれ迷い色々と各方面の大學生は無く考えて臨時教員を続けるべきか学校長に相談していた処、八日市場市の敬愛学園内に短期大学が開設とのニュースがありました。昭和二十五年五月私は早速入学手続きに行きました。第一号の入学許可学生、「安心。私にどうては、「生の救いの神」となりました。

早速、はじめての出逢い名誉のある長戸路政司先生と面談。そして神原克重教授先生と入試。面接試

方々はかりではありません。交流を重ねる中で社会が求めている学校の姿を再確認することができました。また、「オンとオフ」をどのように切り替えればよいかを教えていただきました。

7月23日に敬愛短大では「ホームカミングデイ」を実施しました。今春卒業されて疲れが出始めた方責任ある仕事を任される世代の方への癒やしとプラッシュアップの為のプログラムです。校友会も協力をさせていただきました。

敬愛短大校友会は、いつでも皆さんとの「ホームカミング」の場です。同窓会支援や敬愛フェスタ、さつき祭りの協賛をとおして皆さんが母校に帰れる機会を設けています。まずは10月の定期総会、愛エフエスタへのご来校で「ホームカミング」をお願いします。

新しい生き方を見つけられるきっかけがあるかもしれません。

# 191名の新 準会員167名 歓迎とお祝いを

の員、  
り、歓迎とお祝いを申し上げ  
ます。

役員一同、会員同志、若い  
世代の方がたも含め気軽に  
参加できる、同級生、同窓生、  
同士が交流できる場として  
の校友会を目指し、次の事業  
に取り組んでおります。

一、卒業生全員に卒業記念  
品、校友会長賞、表彰者  
への記念品贈呈、卒業  
パーティー参列お祝い、卒  
業生代表二名の方幹事  
として役員に就任、事業  
推進に当たり提言採用。

二、さつき祭りへの協賛。

三、ホームカミングデイへの協賛。

四、電子ピアノ8台寄贈。

五、敬愛フェスティへの参加、合  
唱祭、ビンゴゲーム、カラ  
オケ、ダンス大会への会長  
賞贈呈、ストラックアウト、  
大道芸の実施、また花火

六、校友会会報年一回の発行。

七、通常総会の開催終了後  
懇親会会費千円、同窓生、同級生、友人との再会、交流の場として活用。特別記念講演開催。

八、校友会ホームページの開設、閲覧。

九、同級会、同期会への開催助成措置の実施。

十、ふれあいピアノコンサートへの協賛。

母校のますますの充実発展のための、学園施設への支援、創立60周年記念事業協賛金への協力に努める等の活動を実施してまいりました。

今年の校友会通常総会の開催は、10月7日学園の予定です。

思い出の、KEI A Iフェス

タは、10月20、21、22、日の予定です。

この機会に是非母校に訪れてみませんか、同窓生との出会い、同級生との再会、校友との再会を実現してみてください。



受付をされた方は、記念品を用意しています。又校友会室を会員の休憩所として開放しております気軽に立ち寄りください。

更なる会員相互の親睦と扶助を図るため、活動の活発化を重点課題とし、校友会への結集を図る為、同級会、同期会等への支援、さつき祭り、ホームカミングデイ、ふれあいピアノコンサートへの協賛等を実施致しました。会員皆さんのご支援、参加を宜しくお願ひ致します。

開催の予定の通り、再び活用。後窓の親子の訪問にて、支那協会の発表も行なわれました。



の午後は、男手の少ない農家へ班別に奉仕活動へ行き生産活動に協力。私達は毎月一回戦場にいる軍馬の飼料に乾燥草を十貫目箱詰めして学校へ持っていく、一番辛い仕事であります。戦いは勝つまでも一生懸命でした。

私は、昭和二十二年三月卒業、将来の希望として工業関係の職業と夢をもつて、受験準備をしていたのですが、昔小学校で教えてくれた恩師が訪ねて来られ、戦後間もないで中学校の教員が足りない、少し臨時教員として手伝ってくれないかと誘われ勤めた。「一ヶ年勤務しましたが将来教師になるには、教師免許の資格が必要となり、三月末に教育関係大学の志願、試験は終っていた。思案にくれ迷い色々と各方面の大学は無く考えて臨時教員を続けるべきか学校長に相談していた処、八日市場市の敬愛学園内に短期大学が開設とのニュースがありました。昭和二十五年五月私は早速入学手続きに行きました。第二号の入学許可書、二安心。私にとっては、「生の救いの神」となりました。

早速、はじめての出逢い名誉のある長戸路政司先生と面談。そして神原克重教授先生と入試。面接試



大病院で看護士さんも親切。病院食も完食。付添は、午前から午後にかけて自分が、午後は二男、夜から朝は長男とし、一時も間をあけない態勢をとった。妻も生きる気力が出てリハビリの先生をたより毎日歩行練習を続けた。

しかし、病魔は少しずつ妻に襲いかかってきて、入院三か月、病状が悪化、親族に見守られながら天国へ旅だつて行つた。

人生「一寸先は闇」という諺があるが、現代、老若を問わず癌が大きな医療問題、否社会問題となつてゐる。症状が出た時は手遅れの場合が多い。定期健診の義務付けを考える時、きいていくように思う。

## いじめについて

篠田 賢一  
(和36年卒業)

学校を卒業し、教育者としての資格を得て就職する。そして、必ずと言つても良い位に当面し悩まされるのが「苛め問題」であるのではないでしようか、その「苛め」について、交通評論家渡辺綱雄先生が「愛は勇気の泉」と題し記述しています。内容ですが、先生が10歳頃はひ弱で、上級生等にいじめを受けていた、ある日登校途中買い求めた、ノート・鉛筆を悪鬼鬼に奪われそうになつた。そういう時、何時もなら泣きべそをかいて退散するのですが、その時は、「大事に使うんだよ」と言つて、お金を渡してくれた母の顔が脳裏に浮かび、「駄目だよツ」ときつぱり断つた。すると当然相手は拳を振り上げて向かってきた、そこで咄嗟に敢然と体当たりをしたところ、不意打ちをくらいい、彼は見事に横転した、勢いついてつもる恨みを晴らすがごとく、何と彼の右腕に噛みつい



たところ、彼は、悲鳴をあげて逃げ去つた。その後ろ姿を見送りながら「あれツ、俺は強いんだ」と思つた。この噛みつき事件を見ていた仲間が、「渡辺は強いぞ」と言い立てたのがもとで、噂が広がり、いつの間にか、クラス内の強さの序列が上がつた。しかし長い間被害者として呻吟（苦しみ悩む）してきた者としては、苛める側にはなれず、いじわる者に対し、結構反逆出来る様になつた。ここで、更に記述は続きますがこの後省略します。

次は、この文章に似た経験を私が致しました。私は現在81歳になります。従つて年代はそれ程変わつていなかと思ひます。母は農家の長女で親が決めた人に嫁ぎ、東京都墨田区

以上、二つの例は、母親の愛の籠もつた言葉と、同級生の愛の支援の言葉に励まされ、勇気を得て自分で解決しました。しかし、現在の苛めは、陰湿、集団、暴力等、苛めの質と対処の仕方に問題が多く、先生は、正常な、そして、自然な愛が欠けている「愛のささえの無い弱さは、卑屈を生み」「愛を持たない強さは苛めを釀成していく」と言う。苛めにより犠牲になった報道に接する度に、心が痛みます、当校を卒業され教職に就かれている皆さん、「敬天愛人」の精神に則り苛め問題には精神誠意取り組んで頑張つて下さい。

験を受け合格、追々学生・仲間が増えてきました。授業は頭も堅くなつて、丁寧に授業をしていただきました。楽しく一ヶ年無事卒業させました。四月一日には公立小学校へ就職出来、新任地に赴任。いよいよ教育者としてスタート、敬愛短期大学が生涯の糧となりました。以来、小学校、中学校教諭、管理職員、行政職に四十六年勤務出来ました。特に教育長職として、現場の教師の指導では、母校の短大卒業教師との出会いは格別喜びであり、多少手助けが出来たかと思つております。後輩先生方も大変立派で教育熱心であつたのを忘れていません、教育管理職も大勢仲間がいて心強かつた。

私は、退職後は、市関係の仕事や社会福祉関係に働いています。又地域の児童、生徒を集会所に集め「読む、書く、道徳らしい指導」を続けて、二十年過ぎました。

次に若い頃多少習った論語を復習してみる事にしました。「論語読みの論語知らず」

扱、最近のニュース等で大きな問題は、園児の保育所が全国的に不足で园児の待機が多く問題となつていていますが保育所の建設に反対しているのがなんと地区高齢者である。

鹿児島市徳之島伊仙町で「くわーどら宝」といって子どもは国の宝といつて園児の手助けをし大切に育てている。子どもは将来の納税者で社会保障の担い手であり共助、公助の環境を作つていく必要があり求められていると考

えている今日である。

私も今後も更に地域住民として精一ぱい残り少ない人生を過ごしたと思



悲劇は突然やつてきた。妻が胸が苦しいと言い出し、病院へ行くと肺腺癌。手遅れ。レベル3～4。いつ亡くなつてもと宣告。入院も叶わず家で養生。薬なし、放射線無理。ショック、悔しさ悲しさに打ち拉がれ帰宅。

多くの検査で疲労がみえたので床をとる。今迄自己の死は勿論、妻の死を考えもせず。不意の魔手。結婚後、病気らしい病気はせず平穀な生活をしてきただけに衝撃大。

果たして本当に突然だったのか。考えてみるとこの十年間に、兄一人、義姉、義弟を失い寂しい思いだつた。

さて、妻は若い頃から煙草の煙を嫌い、常に注意していた。そして医師宣告の約一年数ヶ月前、出し抜けに妻から「痰にボチリと血が交じつていった。」と告げられた。医者に行くよう勧めるが、以前、社会保険事務所に勤めていた。

とにかく家族一丸となり方策をと  
いうことで、安静、ストレスに注意、  
食事に配慮、自然態での生活、薬の  
代わりのサプリメント、文献やイン  
ターネットで研究等をすることにし  
た。だが病魔はいつ暴れ出すかも知  
れない。

そんな時、九州に癌の本を出して  
いる先生や兵庫県で成果をあげてい  
る先生を知り指導を受け、気持的  
にも安定してきた。遠距離のため、診  
療は無理。そんな時、元京大教授で、  
先生を知り診察していただく。待合  
室には、執筆された本が沢山ありま  
した。藁にも縋がる思いで薬をいただ  
き帰路につく。でも自宅まで一時間以  
上の車での道程は厳しかった。

癌と宣告されてから一年、徐々に息  
苦しさは増し、トイレも儘ならなく  
なり人工呼吸器をつけながら入院。

悲劇は突如  
やつてくる

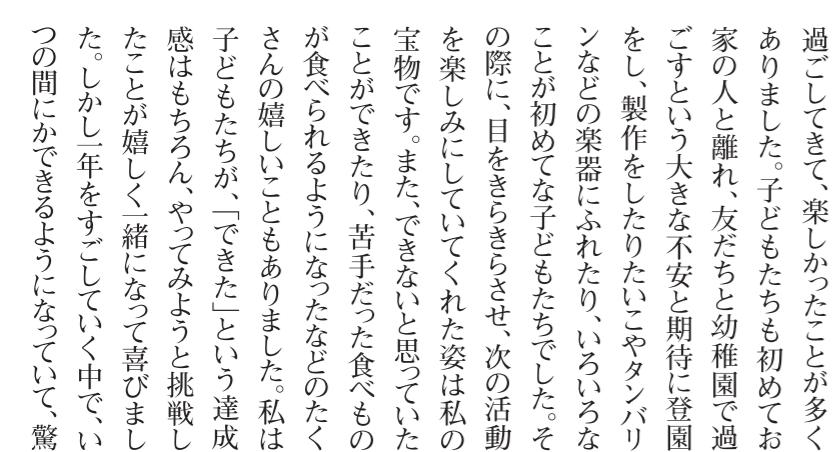
りた」ともあり 医療費赤字が頭に浮かび、様子を見るとのこと。



内田 依里  
(平成28年卒業)

## 2年目を 向かえて

私が千葉敬愛短期大学を卒業し、幼稚園の先生という、あこがれの職業につきはやいもので一年がたち、一年目をむかえました。



間とは、よく連絡を取つてお互いに励まし合っています。

たまごプロジェクトでお世話になつた、佐倉市立山王小学校の先生方や子ども達。教育実習でお世話になつた、柏崎市立比角小学校の先生方や子ども達。初めての赴任校でお世話になつた、成田市立下総みどり学園の先生方や子ども達。私が暗い気持ちの時に、元気を与えていただきました。ありがとうございました。

私は、地域に支えられて、共に成長できる教員を目指しています。これから千葉敬愛短期大学や、千葉県を盛り上げていけるよう頑張りたいです。

過ごしてきて、楽しかったことが多くありました。子どもたちも初めてお家人の人と離れ、友だちと幼稚園で過ごすという大きな不安と期待に登園をし、製作をしたりたいこやタンパリンなどの楽器にふれたり、いろいろなことが初めてな子どもたちでした。その際に、目をきらきらさせ、次の活動を楽しみにしていてくれた姿は私の宝物です。また、できないと思っていたことができたり、苦手だった食べものが食べられるようになつたなどのたくさんのお嬉しいこともありました。私は子どもたちが、「できた」という達成感はもちろん、やつてみようと挑戦したことなどが嬉しく一緒になつて喜びました。しかし「年をすぐしていく中で、いつの間にができるようになつていて、驚



岡 穂乃佳  
(平成28年卒業)

## 子どもの気持ちを 受け止めて

が、子どもたちの成長を一緒に喜び笑顔いっぱいで過ごしていきたいです。子どもがかわいいだけではやつていけませんが、やっぱり子どもはかわいいですね（笑）

かされることもありその時にもつとほめてあげられたらよかつたかなと、少し反省をしています。

今年は、学年がとび年中組の担任になりました。4月は、昨年の子どもたちとすごす時間が減つてしまつたことに少し落ちこむ時期がありました。その中でどんどん自分に新しいクラスが進みこんなんじやだめだと気づき気持ちを入れ直しました。4歳児にもなると自分たちでできることもたくさんあります。更には、私にまで、「先生これやつとく?」などとお手伝いまでしてくれ「すごいなあ。そんなことまでできちゃうのかあ。」と私が日々感心させられます。長い夏休みが終わり、運動会やおゆうぎ会、たく

近年、高齢化社会が加速度を増し、これらに対する福祉対策が国をはじめ県市町村の大きな負担となり年々増加の一途をたどっていることは、ご承知のとおりです。

小生も来年傘壽を迎えることになりますが、できるだけこれらの負担にならないために、これからのお後をいかに過ごすかを考えさせられます。

まず考えることは、「健康であること」が大切だと思います。健康であれば「医療費」を削減できます。又、「介護施設」のご厄介にならなくとも済みます。そのためには如何に健康を保持するかです。小生65歳の第2ラウンドに入った時、縁あつて「社交ダンス」の仲間入りをいたし、お陰様で姿勢がよくなり気持ちも若さを保つことができてお

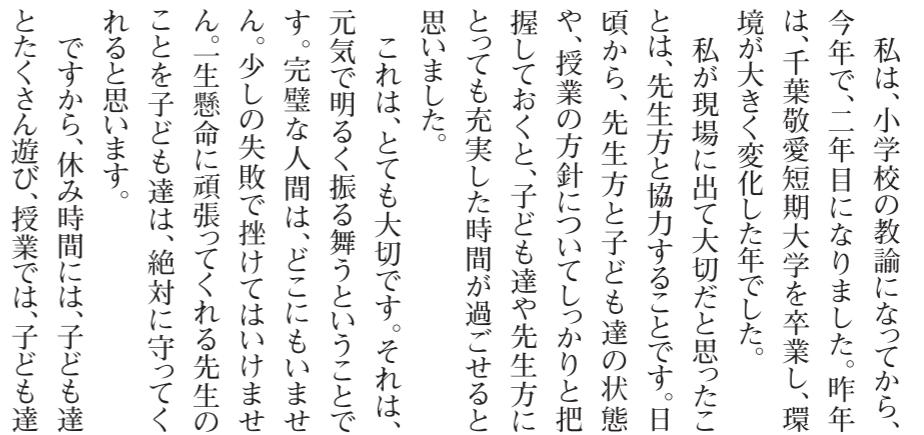
ります。

又、昨年から市の指導で町会の仲間と「健康体操」を週二回楽しみ、さらに団体の主催する健康運動に積極的に参加しています。

私自身あまり運動は好きなほうではあります。

せんが、老後の健康の大切さを感じ、今までも健康で「はつらつ」としていたい気持ちから努力している次第です。





一年目の反省もふまえて日々の保育の中で大切にしていることについて記したいと思います。子どもの心は純粹で喜怒哀楽を思うままに表現することができるのは子どもならではの素敵などううだと思います。私は子どもらしさを大切にしてどの子も幼児期を充実して過ごしてほしいと願い、保育者として自分なりに心がけていることが二つあります。

一つ目は「子どもを褒める=認める」ということです。誰か泣いている友達がいると駆け寄つて自分のティッシュで涙を拭いたり、なぐさめたり時には喧嘩の仲介役をしてくれ



大野 宣剛  
(昭和42年卒業)

健康の  
ありがたさ

これから現場へ  
羽ばたく皆様へ

と楽しく学習しましょう



# 卒業生が帰ってくる大学をめざして

学生部長 大野 雄子

今年も本学主催の「教員免許状更新講習」が行われ、多くの教育者、保育者の皆さんのが熱心に楽しく受講くださいました。その中でちらほらと卒業生の懐かしい顔を拝見しました。免許状の更新年度は、同級生であれば同じであることから、「この講習では、予想以上に同級生に会いますよ」という話を聞くことができました。卒業生が本学に帰ってきてくれるということは、とても嬉しいことです。帰ってきてくれた卒業生に何か特典があったらよいなと考えてしまします。

また、全国私立短期大学体育大会  
前日には、本学体育館に男子バスケット  
ボール部の卒業生が集まり、大会に参  
加する学生の激励と特訓にあたってく  
れています。これは毎年恒例となって  
いるそうで、あらためて受け継がれる紳  
の大切さを実感しました。その甲斐あつ  
て、男子バスケットボール部は3位入賞、  
女子バスケットボール部はBブロック優  
勝という素晴らしい結果を収めました。

去る7月25日には、校友会の協力のもと、第一回「ホームカミングデイ」を開催しました。「ホームカミングデイ」の趣旨は、卒業生がいつでも帰ってくることができる場を設けることにより、卒業後もサポートできる体制を作り上げていくことにあります。懐かしい仲間と出会う場、悩みを気軽に相談できる場、新たなネットワークをつくる場となるよう工夫を凝らし運営していくたいと思います。

今回は、小学校教諭としてご活躍さ

れている安藤保さん、坂下諒さんより、職場や余暇での敬愛の仲間としての繋がりや在学時を振り返った様々な想いについて、また、幼稚園教諭としてご活躍されている菅藤拓也さんより、保育の楽しさや、男性保育者としての子どもへの関わりについて、それぞれに興味深い話をうかがいました。お話しいただいた皆さんのが卒業した今でも千葉敬愛短期大学を心から愛していることや、在学時の楽しさや大変さが伝わってきました。

本学の宝物は、学生と社会に羽ばたいて行った卒業生の皆さんです。一人一人の力を持った味とうまく繋げていく

本学の宝物は、学生と社会に羽ばたいて行った卒業生の皆さんです。一人一人の力や持ち味をうまく繋げていくお手伝いができたならば、更に大きな力を生み、様々なものを発信していく原動力となっていくことでしょう。「卒業生が帰ってくる大学」に向けた取り組みは、まだ始まったばかりではありますが、これからも、皆さんのお力を借りて少しずつ育てて行きたいと思います。

千葉敬愛短期大学校友会

平成27年度決算書

(WED 27 NOV 1 1991 - WED 28 NOV 1991)

< 収入の部 >				(単位：円)
項目	予算額(Ⓐ)	決算額(Ⓑ)	増減A-B(△は減)	備考
会費	前年度総額	2,668,730	2,668,730	0
	正会員	0	0	0
	準会員	6,000,000	5,640,000	△ 360,000 ○会員登録料100名×420,000
総会(懇親会)会費	20,000	15,000	△ 5,000 ○会員登録料100名×500	
雑 収 入	30,000	65,165	35,165 ○会員登録料100名×350	
合 計	8,718,730	8,388,895	△ 330,835	

< 支出の部 >				(単位：円)
項目	予算額(Ⓐ)	決算額(Ⓑ)	増減A-B(△は減)	備考
総会	印刷、郵送費	70,000	64,890	5,200 合併と同額
	懇親会会費	216,000	216,000	0 15名出席
会報印刷、郵送費	900,000	896,862	3,138	
大学行事参加費	1,260,000	1,121,997	138,003 ○会員登録料100名×1,380	
会 議 費	150,000	103,402	46,598 ○会員登録料100名×465	
名簿訂正、追加	100,000	0	100,000 ○会員登録料100名×1,000	
役員・事務局賃費	750,000	527,295	222,705 ○会員登録料100名×2,227	
旅 費 通 費	0	0	0 ○会員登録料100名×0	
旅 費 日 当	1,000,000	410,000	590,000 ○会員登録料100名×590	
校 友 会 助 成 金	300,000	0	300,000 ○会員登録料100名×3,000	
基 金 積 立	3,000,000	3,000,000	0 ○会員登録料100名×30,000	
予 備 費	972,730	915,294	57,526 ○会員登録料100名×575	
合 計	8,718,730	7,355,560	1,463,170 ○会員登録料100名×14,632	

平成22年度収支決算報告書について、会計諸帳簿及び領收書等を精査した結果、  
誤りなく正確適正に処理されていることを確認したので報告いたします。

平成 28 年 9 月 11 日

平成28年度予算書

(昭和28年9月1日～昭和29年8月31日)

＜ 収入の部 ＞				(単位：円)
項目	平成28年度予算額(△)	平成27年度予算額(▲)	増減△-▲(△は減)	備考
前年度繰越金	1,133,335	2,668,730	△ 1,535,395	
会員 正会員	0	0	0	
準会員	6,000,000	6,000,000	0	6,1人会員登録料200円×830,000
総会(懇親)会費	20,000	20,000	0	
雑 収 入	30,000	30,000	0	
基 金 組 入	2,600,000		0	2,000,000 特別会計を一部取り崩し組入れ
合 計	9,183,335	8,718,730	-464,605	

＜ 支出の部 ＞				(単位：円)
項目	平成28年度予算額(△)	平成27年度予算額(▲)	増減△-▲(△は減)	備考
総会				
印刷、郵送費	70,000	70,000	0	
懇親会会費	216,000	216,000	0	
会報印刷、郵送費	920,000	900,000	20,000	
大学行事等協力費	2,260,000	1,260,000	1,000,000	新規会員登録料200円×830,000人×2回×2回=1,692,000円
会 議 費	150,000	150,000	0	
名簿訂正・追加	100,000	100,000	0	
役員・事務局経費	750,000	750,000	0	
旅 費 日 当	1,000,000	1,000,000	0	
校 友 会 助 成 金	300,000	300,000	0	
基 金 積 立	1,000,000	3,000,000	△ 2,000,000	
予 備 費	2,417,335	972,730	1,444,605	
合 計	9,183,335	8,718,730	-464,605	

たり：これらのが普段関わりの少ないクラスや学年の子に対してもできるように思います。しかし全員ができるわけではありません。善い事をして認めてもらつた経験をたくさん思ひます。そのため普段の保育の中でも「認める」ということを心に置いています。大人でも褒められたら嬉しい気持ちになるのと同じです。例えば片付けの場面で、時間がかかるつてしまつた時には注意するのではなく、やつてゐる子を褒めることで周りの子も負けずにおもちやをいっぱい持つてきてくれたりします。しかし注意すべきことは、褒められないとやらないことです。褒められると嬉しいことをするというのとは本末が逆になることがあります。では困るので一人ひとりをしつかりみてできたこと、頑張つてることを認めてあげるようにしています。

過ごしていきたいと思っています。幼稚園は子どもたちにとって初めての集団生活の場であり、人間関係や社会のルールなど学ぶことがたくさんあります。その大切な時期の子どもを預かる責任は大きいですが、自分がやりがいもあり一つひとつ成長に喜びを感じます。子どもつて面白いなと感じたり感動することがいっぱいあります。子どもの心身に寄り添うことで得られる幸せは保育者ならではの喜びだと思います。保育の仕事に就けていることに誇りを持つて今後も精進していきたいと思います。

歩いて三分ほどの中電線の下の緑道公園、通称なかよし広場です。この広場に毎朝、人生の先輩たちがラジオ体操をしています。

昨年の夏休み、孫がやつてみたいとうので一緒に参加してみました。途中から参加したのですが、日に日に参加人数が増え、楽しみになりました。子供達も十人くらいから三十人以上の数となり、大人も合わせると百人以上の大人数で、いつも広いなと思っていたなかよし広場も活気にあふれ、狭く感じられます。いい広場があつて良かった。

夏休みも終わり、孫の参加もなくなつたので、しばらく休んでいました。ところが何となく体の調子がおかしいなと感じられたので、これはラジオ体操かなと思い、又参加することにしました。やはり最初は夏休みの半分位の参加者でしたが、だんだん人数も増えてきました。私と同じように思う人が増えました。



# 朝のラジオ

伊藤 ツネ子  
(昭和40年卒業)

たのかな。